

	天野委員	伊藤委員	大野委員	関谷委員
1 文化事業 吉野町	<p>【評価する点】 多様な文化事業を通して、地域に密着した市民プラザとして実績を残しています。特に、三館連携イベントは、共同事業体の強みを生かした新たな試みとして評価できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 一部の事業で目標未達が見られます。SNSなどの活用により発信力を強化するなど集客に向けた取り組みが必要です。また、市民プラザの性格から市民や文化団体等と企画した事業の展開を期待します。</p>	<p>【評価する点】 一般的に地域との関わりが強い事業(大岡川アートプロジェクトなど地域特性を活かしたもの等)が多く、動員力もあって、文化的コモンズとして機能しているように思われ、評価したい。 Dance Dance Dance や、ACYと連携した吉野町芸術工房、芸術文化教育プラットフォーム等、市の文化政策への協力も評価するが、今後はプラザの自主事業と密接化していくことが望まれる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 鑑賞型の公演事業やギャラリー事業において集客など問題が見られるが、地域住民のニーズを探るとともに、広報など工夫する必要がある。 大学生など若い観客層の掘り起こしへの努力は見られるが、そうした層のニーズ把握に取り組むことが求められる。 アート寺小屋や、親子で楽しむコンサートについては、定員を見なおすなど検討することが求められる。</p>	<p>【評価する点】 鑑賞型(公演)と体験型事業がバランスよく設置されており、参加型においては目標値を大きく上回る結果となっている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 自己及び行政評価にもあるように、鑑賞型事業の集客は、ほとんどが目標値を下回っている。原因の特定(広報・日時・演目内容・目標値・地域特性とターゲットの適合など)と改善を期待する。また、WEB・映像制作を中級講座に変更しているが初級の設置も踏まえ再検討して欲しい。</p>	<p>【評価する点】 ・市民により近い文化施設としての役割を果たしている点。 ・HP によるイベント情報発信や、写真入り「館長日誌」が効果的である点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・「朝からグランドピアノ」や新規開催の「真夏のダンスステージ」といった集客に成功しているイベントを参考に、集客の少ないイベントについては、例年の広報を白紙にして、ターゲットとアナウンス手法を一から見直して、集客数を伸ばす取り組みを行って欲しい。 ・写真や落語は潜在的なターゲットが多いと思われるので、さらに掘り起こす取り組みに期待したい。 ・展示については、書道教室や絵画教室などを運営している市内の事業者あてに、年に一回の発表の場として利用してもらうよう、施設利用の案内を発信できないか、検討してはどうか。 ・夏休みに集中して、小学生向けの体験プログラムを、さらに充実してはどうか。施設の認知度が上がり、将来の利用者増への布石につながることも期待できる。 ・ホームページのトップに『終了しました』というイベントを残すと、行きたいと思ってもがっかりしてしまうので、終わったものについては表示しないようにし、これからのイベントのみを充実して載せられるように手配してはどうか。</p>
岩間	<p>【評価する点】 岩間オリジナル事業など個性的な事業が展開され地域に定着しています。また、併設の施設管理者や地域団体等と良好な関係も構築され、事業の連携が図られていることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 市民の文化活動の底辺の拡大と利用率向上のために講座参加者のサークル化を進めていただきたいと思います。</p>	<p>【評価する点】 社会福祉法人や国際交流ラウンジが併設されていることもあり、社会的包摂など地域課題の即した事業が盛んであり、また地元商店街や地域住民(高齢者や子育て世代ファミリー等)のニーズを汲み取った事業も多く、地域における文化的コモンズとして機能していると思われる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 良くも悪くも事業の対象が高齢者や子育てファミリー層が中心で(その面においては大きな成果をあげているものの)客層が固定化し、U25(高校生・大学生や 20 代前半)の人たちが忘れ去られているような印象をもつ。施設運営面ともあわせ、その層へアプローチする企画や広報を検討すべきではないか。</p>	<p>【評価する点】 特徴的な事業が多く、鑑賞型・体験型事業どちらにおいても、ほとんどが目標値を達成しているため、地域の需要(地域特性やターゲットなど)にマッチしているように感じられる。また、併設している社会福祉法人や国際交流ラウンジ、その他地元の施設やイベントなどとも連携や関係性が構築されている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 アウトリーチ事業である「保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート」(雪のため中止)の開催とその他の事業についても(必要に応じ)開催時期の再検討。</p>	<p>【評価する点】 ・どのイベントも集客が好調である点。 ・岩間市民プラザ独自の核となるイベントが存在し、継続して盛況である点。 ・複合施設であることを意識して、効果的な協働関係ができています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・新規の「浴衣着付け教室」や曲目解説付きの「レクチャーコンサート」など、引き続き、新しい取り組みにチャレンジしていただきたい。 ・「ROCK SPACE」音楽イベントでは、吉野町市民プラザや関内ホールとも連携し、3館協働事業につながったので、今後も充実させていって欲しい。 ・スタッフブログがホームページのトップから入れるのは効果的であるが、過去の記事を一覧で右側に配置している吉野町市民プラザ形式の方が見やすいので確認して欲しい。</p>

	天野委員	伊藤委員	大野委員	関谷委員
2 施設運営	吉野町 <p>【評価する点】 利用率向上のための様々な取り組みにより、ホールの利用率が97%を達成したことを高く評価します。職員等の十分な安全配慮をお願いします。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ギャラリーや会議室を有効利用できる自主事業の実施と地域の美術団体や企業等への営業活動の強化をお願いします。</p>	<p>【評価する点】 一定の水準を維持すべく努力が見られ、利用率も向上し、特に問題は無いと思われる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ギャラリー、会議室の利用率アップに向けて、自主事業とも連携した「利用モデル」の開発など、工夫が求められる。</p>	<p>【評価する点】 ①バックステージツアーや、「U25割引制度」の案内による施設やサービスの認知度・利用率アップの取り組み ②ホールとスタジオの利用率が向上している点 ③3館連携会議など施設内外で情報共有を行い、サービス向上や連携事業に生かしている点</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ギャラリーと会議室の利用率向上として、新たな用途の提案（地域特性を活かした設定など）。</p>	<p>【評価する点】 ・苦情を全スタッフと共有し、要望についても出演者や講師等と情報を共有している点。 ・個人情報保護について、随時研修を行って事故がないように取り組んでいる点。 ・接遇研修を年1回から2回に増やした点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・窓口に来た利用者に紙によるギャラリーや会議室の営業ちらしを手交し、潜在しているターゲットの掘り起こしで、利用率を高められないか検討してはどうか。 ・小規模のため、自分の園で開催できない近隣の保育園合同での手作り工作によるお店屋さんごっこや、七夕会やお芝居の発表会の会場として、ギャラリーを利用してもらう提案など、こちらからの企画営業を行ってはどうか。 ・駅から近い利点を活かし、敬老パスを郵送する際に、外出機会の提案になるように、①今月のイベントがわかる「プラザインフォメーション」と、②ホームページでイベントカレンダーを見る写真付き手順書のちらしを同封できるように、横浜市と協力して検討してはどうか。</p>
	岩間 <p>【評価する点】 様々な利用率向上の取り組みがなされています。また、利用者ニーズ等を施設運営の改善につなげています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ギャラリーやリハーサル室を有効利用できる自主事業の実施と地域の美術団体や学校等への営業活動の強化をお願いします。また、日々の業務を通して個人情報保護に対する意識づけが必要です。</p>	<p>【評価する点】 利用者サービスの向上や人材育成等にきちんと取り組んでおり、評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ホール以外の施設の利用率の向上に向けて、文化芸術に限らないフレキシブルな利用法の開発が求められる。 地域密着型の文化施設においては、利用者の固定化は地域との関係づくりという点ではプラス面もあるが、今後に向けては、若者や新しい利用層の開発が求められる。</p>	<p>【評価する点】 利用率の低いギャラリーにおいて、デモンストレーション展示を行い、具体的な使用イメージを住民に伝える取り組みは、効果的である。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ギャラリー、リハーサル室、レクチャールームの利用率向上（特にリハーサル室は利用率は低迷）に向けた新たな取り組みを期待する（アンケートの実施など）。また、タイトなローテーション勤務とのことなので、スタッフの負担増に気を付けて下さい。</p>	<p>【評価する点】 ・個人情報チェックシートを利用して定期的に自己点検を行っている点。 ・DVD を利用した人権研修を行っている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・利用許可書の誤交付が起きてしまった背景を考察し、ミス防止する手順やチェック体制を構築して欲しい。 ・個人情報チェックシートを利用した自己点検方式だけでなく、コンプライアンス研修も含め、相互に理解を確認できる研修体制も、引き続き継続してもらいたい。 ・ギャラリー、リハーサル室の利用拡大や営業活動については、自己評価の課題でも挙げられていたので、それを工夫して実現化していくことに期待したい。</p>
3 維持管理	吉野町 <p>【評価する点】 施設の安定的な運営と緊急時における施設利用者等の安全に配慮した柔軟な対応を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特になし。</p>	<p>【評価する点】 防災など努力が見られ、評価する。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特になし。</p>	<p>【評価する点】 エレベーターの保守点検や防災訓練を増やすなど、安心・安全面への取り組みが強化されている。また、施設の不具合についても都度、市へ報告し迅速に情報共有しているように見られる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特になし。</p>	<p>【評価する点】 ・施設が老朽化している部分もあるが、定期点検と日常の清掃を十分に行い、快適な空間が保たれている点。 ・有事の際には、災害ボランティアセンターとして地域に貢献する体制を備えた点。 ・南消防署と連携して防災や消火や救命の訓練を行っている点。 ・防災訓練を年5回実施している点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・災害ボランティアセンター協定を締結したので、有事にはどのように対応していくのか準備し、防災に対応できる施設として、引き続き訓練を重ねて欲しい。</p>
	岩間 <p>【評価する点】 施設の安定的な運営と施設利用者の目線に立った安全対策がなされています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特になし。</p>	<p>【評価する点】 特に問題も無く、きちんと維持管理されているように思われる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 施設の老朽化もあり、異常気象の中、防災や非常事態対策等、一層取り組んでいただきたい。</p>	<p>【評価する点】 事故防止や防災訓練への取り組みが地域特性（高齢者への対応や防潮版の設置訓練など）を考え行われている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 施設の老朽化が進み、故障や破損が多く発生しているとのことなので、事故のリスクを低減できるように、修繕費の確保などについて横浜市に相談・要望。</p>	<p>【評価する点】 ・アンブや譜面台の自前修繕や、段差へのすべり止めテープ設置など、工夫がみられる点。 ・防潮板の設置など地域特性に対応した防災訓練に取り組んでいる点。 ・危機管理マニュアルの通報・避難部分を事務室内に掲示し、速やかな対応ができるようにした点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・施設の老朽化による故障や破損等で、利用者に影響が出ないように、事故を未然に防ぐ修繕計画を立てて、横浜市と協議しながら情報を共有して欲しい。</p>

		天野委員	伊藤委員	大野委員	関谷委員
4 収 支	吉 野 町	<p>【評価する点】 利用料金収入が予算を上回るなど収入確保に向けた取り組みと電力契約の見直しなどによる経費の削減により、収支の改善が図られてきています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 自主事業収支のバランスに留意した事業の展開が必要です。また、利用料金や協賛金等の収入確保に努めるとともに効率的な執行により収支の改善を進めてください。</p>	<p>【評価する点】 利用料金収入の確保やコスト削減など、努力をしており、評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 協賛金・助成金について、共同事業体のネットワークを活かしたり、的確な社会的なニーズの把握等による更なる努力が求められる。</p>	<p>【評価する点】 利用率向上により利用料が74万増加し、広告掲載料・審査料・補助金での収入も得られている点。また、コスト削減において光熱水費で22%減が実施されている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 指定管理者の強みを活かし協賛金の獲得(0件)について取り組み。 コスト削減(光熱水費の減や職員による修理)は、利用者の不満や職員に無理が生じない範囲で実施して欲しい。</p>	<p>【評価する点】 ・事業ごとに採算ラインを設定した点。 ・利用日が近づいてからの予約にも対応し、利用料収入アップに貢献した点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・予算通り収入が上がらなかった場合に、固定費や人件費は確保しなければならないため、修繕費をけずることになり、十分な対応ができなくなる恐れがある。修繕費捻出のためにも、さらなる利用料収入の増加や協賛金の獲得に期待したい。 ・収入については予算通り獲得できない要素があるが、無駄を省きながら収支が赤字とならない運営について期待したい。</p>
	岩 間	<p>【評価する点】 自主事業収入が予算額を大幅に上回ったことは評価できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 収支の改善を図る必要があります。利用料金収入の確保と公益性の高い事業については国等の助成金を積極的に活用するなど収入増に向けた取り組みを進めてください。</p>	<p>【評価する点】 自主事業収入の増加は評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 利用料金収入の確保や、地元事業者などの協賛金等の獲得に向けて、努力を続けて欲しい。</p>	<p>【評価する点】 自主事業の盛況による収入対予算の向上(約80万〈予算対約15%増〉…全体としては約150万)。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 指定管理者の強みを活かし協賛金(1件)や助成金の獲得。なぜ前年度と比べ半減したのか原因の特定</p>	<p>【評価する点】 ・自主事業収入が成功している点。 ・事業チラシをすべてスタッフが自前で制作し、価格や枚数にも無駄を省いている点。 ・相鉄瓦版での掲載や駅近書店へのチラシ配架や近隣の高校への直接訪問など、積極的な広報活動が行われている点。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ・イベント集客率が好調であるが、それが利用料収入に結びついていかなかった点が残念である。施設の認知はされているので、さらなる利用者ニーズの発掘に期待したい。 ・次年度の予算編成では人件費は確保しなければならないが、それに見合う予算を立て、営業努力と経費節約に努めて、収支が黒字になることを期待したい。</p>

平成 30 年度 横浜市市民プラザ指定管理業務評価表（外部評価）

		天野委員	伊藤委員	大野委員	関谷委員
その他	吉野町		これからの時代に向けての文化施設の役割等も踏まえ、横浜市の他のホール等との差別化—市民プラザの市の文化政策上のポジションについて、市とも話し合いの機会をつくり、現場からの積極的な提案をして共に考えていくことが必要。特に市民プラザとして必要な人材（公演企画、教育プログラム他地域連携企画、施設管理、広報・マーケティングなど）の見直し・検討が求められる。	2館連携や3館連携イベントの開催により、人的資源やノウハウが活かされ、問題点などの情報共有にも繋がっていることを高く評価。	
	岩間		タイトなローテーション勤務の中で、働き方改革に対応した労務管理（共同事業体内および外部委託業者も含めて）がどうなされているのか、具体的な業務報告が欲しいところである。	2館連携や3館連携イベントの開催により、人的資源やノウハウが活かされ、問題点などの情報共有にも繋がっていることを高く評価。	
総括	吉野町	指定管理者（共同事業体）の強みを生かした三館連携イベントや地域と密接に関わった事業などを通して、地域の文化拠点としての存在感が増しています。今後も、地域の市民プラザに求められる役割を果たしていけるよう期待します。	全体として、頑張っていると思う。ギャラリーや会議室などの利用率アップは、単に稼働率や収支の問題ではなく、いま地域に求められている施設についての基本認識にもつながるもので、＜その他＞でも述べたように、市民プラザのミッションの再構築を市とともに再考していく必要がある。	Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2018 においては大きな成功を収めており、その他の体験型事業においても目標値を大きく上回り、横浜市や地域の盛り上がりにも貢献している。一方で、鑑賞型事業においては、目標値を下回っている。なぜこのような差が生まれるに至ったのか、企画段階や広報手段を振り返り、原因を特定するとともに、次回の取り組みに活かして欲しい。また、利用率の低い施設についても新たな用途の提案を期待している。	駅からも近く、利用しやすい位置にあることを活かし、市営地下鉄沿線の住人の憩いの場所として、今以上に地域に必要とされる施設になることに期待したい。 災害時にはボランティアセンターとして機能することにもなり、防災拠点としての役割も大きい。 蒔田駅にあった南公会堂が移転したこともあり、地域での文化の発信拠点としての役割が大きくなっていると考えるので、さらなる新規企画やワークショップに期待したい。
	岩間	地域の市民プラザに求められる役割を概ね果たしています。今後も地域や他館等と積極的な交流・連携を図り、「岩間市民プラザ」が地域文化の発信拠点にとどまらず、地域住民の交流の場としての役割を担うことを期待します。	2つの市民プラザの連携事業や、（同じ指定管理者の）関内ホールと連携等、複数の指定管理業務から生まれた新企画は評価したい。また施設内の他団体や地域の機関・団体との協働にも取り組んでいて、高く評価したい。保土ヶ谷オープンヘリテージは降雪のため中止となったが、今後関係団体と密なコミュニケーションを維持して、地域の開かれた施設として特徴を出して欲しい。	地域の需要にマッチした特徴的で個性的な事業が多く、鑑賞型・体験型事業どちらにおいても、ほとんどが目標値を達成しており（自主事業の黒字）、内外での事業を通し、地域との関係性が構築されている点は高く評価できる。指定管理者の強みを活かし、地域特性や各事業のターゲットに沿った広告・広報活動を期待している。	すでに地域との連携が取れている様子が感じられるが、今後も継続して地域で存在感のある施設となることに期待したい。 近隣での文化芸術施設として、親しみやすい企画も多い。今ある独自事業を大切にしながら、新たな看板事業も模索する努力を続けていくことにも期待したい。

平成30年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務評価表(自己・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民への文化芸術の観賞、創作活動の機会の提供をします。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	●「午前の音楽会」事業 □述べ入場者数/開催回数	900名/6回	942名/6回	チェック B	日本映画上映を6回実施 「雄呂血」他上映。弁士は坂本頼光。パリで開かれた「2018ジャポニズム」で上映された作品を、同じ弁士で上映。 ●「朗読と音の調べ」 ■文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ □述べ入場者数/開催回数 ○「邦楽いろはにほ〜」 ■委嘱作初演曲を含むプログラム構成の充実 □述べ入場者数/開催回数 ●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数 ●「岩間寄席」 ■アマチュア落語家参加の寄席 □入場者数/開催回数	【成果】 ・根強い人気のある「午前の音楽会」など、手作り感のある岩間独自の事業を継続的に実施しました。29年度からはじめた「岩間寄席」は大盛況で新たな岩間オリジナル事業となりました。 ・活動弁士による語りをついた「サイレントシネマ」は、今年も演目もさることながら、tvkでスポットCMを打った影響か、前年と比べて40名以上入場者が増えました。初めて岩間市民プラザへの来館者もあり、当館の認知度アップにも貢献できました。 ・「邦楽いろはにほ〜」は、毎回新作を発表するなど芸術性の面でも高い評価を得ることのできる演奏会と言えます。 ・豊富なラインナップを誇る「プラザDE体験」では和服着付教室を新たに加え、新たな顧客の取り込みを目指しました。「グランドピアノで練習しよう」は大好評で目標を大幅に超える参加者を得ることができました。 ・クラシックの名曲を聴くだけでなくその曲や作曲家にまつわるエピソードなどのお話を楽しむことのできる「レクチャーコンサート」を始めました。	【評価する点】 ・音楽や映画、大衆芸能、舞踊など幅広いジャンルにおいて、鑑賞型だけでなく体験型のメニューが用意されています。「午前の音楽会」や「岩間シネクラブ」は、岩間市民プラザの特徴的かつ個性的な事業として地域に定着しており、来場者の嗜好を意識した企画がなされ、集客につながっています。また、落語塾については、愛好家の学びと発表の場となるだけでなく、専門家との交流の場としても有意義な場と考え、今後の事業の成熟を期待します。3館連携イベントはライブ中継も行うなど、指定管理者の強みを活かした取組としても成功が感じられます。 ・併設している社会福祉法人や国際交流ラウンジをはじめ、地元商店街や、小学校、保育園などと連携し、発表や学びの場として活用していただくとともに、アウトリーチ事業を展開するなど相互の関係が構築されています。また、保土ヶ谷区民文化祭や保土ヶ谷宿場まつりなどの行事においても、地域の文化拠点としての存在感を示しています。
		●「岩間シネクラブ 思い出名画館」事業 □述べ入場者数/開催回数	720名/6回	913名/6回	A			
		●「シネクラブ特別編・サイレントシネマ」 □入場者数	150名	150名/1回	B			
		●「朗読と音の調べ」 ■文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ □述べ入場者数/開催回数	実施 270名/2回	実施 207名/2回	C			
		○「邦楽いろはにほ〜」 ■委嘱作初演曲を含むプログラム構成の充実 □述べ入場者数/開催回数	実施 250名/2回	実施 240名/2回	B			
		●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数	300名/2回	324名/2回	B			
		●「岩間寄席」 ■アマチュア落語家参加の寄席 □入場者数/開催回数	200名/2回	480名/2回	A			
	②講座やワークショップを開催することで文化芸術への理解・共感を高めていきます。	●「プラザDE体験講座」 カメラ講座、二胡教室 □参加者数	各回8名	カメラ講座 延べ131名(平均11名/回) /12回 二胡教室 延べ75名 25回(固定3名x回数)	B	岩間落語塾受講生発表の場も兼ねるアマチュアをメインとした落語会 4月、10月の2回実施 6月、11月の2回実施 岩間落語塾受講生発表の場も兼ねるアマチュアをメインとした落語会 4月、10月の2回実施 希望者が多いため、当初予定より1名参加者増 新規利用者獲得とホール活性化のため新規実施 雪のため、安全を考慮して中止とした。 88名の予約者には、電話にて中止の旨連絡した。念のため、中止発表後も現地に対応していたところ、当日券の確認に、30名以上の方がお立ち寄りになった。次回開催希望を多く頂いている。	【課題】 ・保土ヶ谷オープンヘリテージコンサートは降雪のため開催を中止しました。チケットの売行きも好調で公演を楽しみにしていた方々にも申し訳ない残念な結果になりました。保土ヶ谷カトリック教会は、高い丘の上に位置するため、降雪時のリスク等を考慮し、共催の保土ヶ谷区や関係者とも話し合い、開催時期の再検討を行っています。 ・「朗読と音の調べ」については、ターゲットを絞った広報宣伝を再検討する必要があります。	
		「プラザDE体験講座」新規追加 ・浴衣着付け教室(夏) □参加者数 ・普段着の着付け教室(冬) □参加者数	新規	「浴衣着付け」(夏) 8名 「普段着の着付け」(冬) 20名(2回)	A			
		●「プラザDE体験講座」 「歌助師匠の岩間落語塾」 (岩間寄席関連講座) □参加者数	4名	5名/23回	A			
		●「プラザDE体験」 「グランドピアノで練習しよう」 □参加者数 20名(延べ)	延べ20名	93名(31回)	A			
③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	●保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート □入場者数	100名	荒天中止	B	雪のため、安全を考慮して中止とした。 88名の予約者には、電話にて中止の旨連絡した。念のため、中止発表後も現地に対応していたところ、当日券の確認に、30名以上の方がお立ち寄りになった。次回開催希望を多く頂いている。	【更なる取組を期待する点】 ・保土ヶ谷オープンヘリテージコンサートは降雪のため中止となりましたが、自己評価の課題としている開催時期については、安定した行事運営のため、関係者との検討をお願いします。 ・地域と良好な関係を築きながら運営が行われています。地域の文化活動の活性化を目的に施設に、その活動を誘致するなど施設利用率の向上も期待しています。 ・集客が好調である一方で、客層が固定化していないか検証することも必要です。		
	●横浜市推進するフェスティバル事業: DanceDanceDance@yokohamaへの協力 □実施回数	1回	1回	B				
	●「レクチャーコンサート」 曲目解説付きのコンサート	1回	1回	B				

2 次世代育成に取組みます。	12	①次世代を担う子どもたちが、文化芸術を通して、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	350名/2回	614名/4回	A	NPO法人横浜こどものひろば主催(岩間協力)	【成果】 ・NPO法人の活動を支援するとともにNPO法人のノウハウを活用することで、多くの青少年に文化芸術に接する機会を提供することができました。 ・地域の商店会や企業を連携し、街のにぎわい作りに貢献するとともに、地域の住民や働く人々に音楽の楽しさや憩いのひとときを提供することができました。 ・「子どものための夏休み日舞WS」では、地元の日本舞踊家と連携し、日本文化の良さを子ども達に伝えることができました。募集開始早々に定員に達する人気事業に育ちました。 ・地域の保育園等と連携し、子ども達の心豊かで健やかな成長を促すお手伝いことができました。また、こうした取組みが岩間市民プラザの認知度向上を促進し、保育園による施設利用につながっています。また、地元の紙芝居団体による公演では、地元で昔から伝わる民話等を題材にすることで郷土愛の醸成につなげました。 ・地域の小学校へのアウトリーチプログラムでは、普段学校では体験することができない文化芸術を届けることができました。
	13		○音楽の贈り物@ほ도가や □述べ参加者数/開催回数	450名/3回	400名/3回	B	年3回実施 10月は会場を地元の「宿場祭り」とし、地元のウクレレ愛好団体に出演協力をお願いしての実施	
			●「午前の音楽会」事業	(I-1再掲)		実施		
	14	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	●子どものための夏休み日本舞踊WS「めざせ☆やまとなでしこ&にっぽんだんじ」 □参加者数	25名/1回	26名/1回	B	借いいわまワークスの協力を得て、3F和室にての開催	
	15	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくりま	●「ぼくのわたしのお絵かきあそび」 □述べ参加者数/開催回数	150名/1回	425名/2回	A	夏は3園、冬は5園と保育園(出展)の参加が増加	
	16	す。	●「ギャラリー紙芝居公演」 □述べ参加者数/開催回数	50名/1回	54名/1回	B	地元の紙芝居団体「えかたり〜べ」協力による紙芝居会	
17	④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5校	5校	B			
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成をします。	18	①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業を実施します。	●WEB制作講座(初級編) □述べ参加者数/開催回数	15名/1回	---	---	映像制作講座の内容に含めての実施。	【成果】 ・映像制作講座では、地元の「保土ヶ谷ガイドの会」や「横浜市民放送局」の協力を得つつ、tvkコミュニケーションズのノウハウを活かし、質の高い講座を実施することができました。 ・「地域理解講座&体験ツアー」では、横浜市史資料室と地元歴史愛好家を講師として招き、明治から昭和にかけての帷子川周辺の工業化に話や工場の写真や住居の写真のパネル展を開催し、地元への愛着を醸成するとともに岩間市民プラザの認知度向上を図りました。 ・「岩間思い出名画館」とセットで実施している「岩間シネクラブサロン交流会」を借いいわまワークスからの場所や飲食の提供などの協力により、毎回落ち着いた雰囲気の中で交流が行われました。 ・吉野町との2館連携音楽イベント「ROCK SPACE」を今年度初めて開催することができました。吉野町とのスタッフ交流を行いながら、最終的には関内ホールの「YOKOHAMA MUSIC SPACE」と3館連携事業へつなげ、幅広い音楽ファンとの交流事業となりました。また、イベントの模様をネットで中継し、3館の広報にもつながりました。 ・保土ヶ谷区民文化祭実行委員会の一メンバーとして参加し、地元の文化拠点としての役割を担いました。 ・保土ヶ谷宿場まつり実行委員会、「ほ도가や 人・まち・文化振興会」等に参加し交流を深めるとともに地域の拠点としての認知度向上に努めました。
	19		●映像制作講座(初級基礎編) □述べ参加者数/開催回数	15名/1回	13名/回	B	地元の団体「保土ヶ谷ガイドの会」、「横浜市民放送局」の協力 地元を撮影・編集し、動画サイトに投稿するまで講座。作品は当館HPIにて公開	
	20		●「地域理解講座&体験ツアー」 □述べ参加者数/開催回数	50名2回	215人/2回	A	地域理解講座はホールにて講演会。体験ツアーに替えて、ギャラリーにて保土ヶ谷オープンヘリテージ関連のパネル展を開催。	
	21	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	●岩間シネクラブサロン交流会 □述べ参加者数/開催回数	30名/2回	38人/4回	A		
	22		●「岩間音楽空間2018」 バンドコンテスト予選会として両プラザで開催 □参加組数	10組	8組/1回	C	参加者を公募しての音楽イベント 吉野町市民プラザとの連携事業 岩間の事業はタイトルを「ROCK SPACE」として実施	
			●YOKOHAMA MUSIC SPACE 両プラザ合同の音楽イベント 協力 関内ホール	実施	実施		関内ホールにて吉野町市民プラザと合同で開催ネット中継を実施した。	
	23		○保土ヶ谷区民文化祭 美術展/写真展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施		会場協力等 入場者は245名	
	21		○保土ヶ谷区民文化祭 茶・華道会いけばな展 ■地域の方の作品展示・文化に触れる機会の提供協力	実施	実施		会場協力、運営・広報協力 入場者351名	
	22		○保土ヶ谷区民文化祭 高齢者作品展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施		会場協力、運営・広報協力 入場者677名	
	23	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	●「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」 □参加者数	100名	96人/回	B	地元の寺院の協力を得ての実施	
		●「保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート」	(I-1再掲)	荒天中止		地域の教会、保土ヶ谷区政推進課の協力を得たが、荒天(降雪)のため、安全を考慮して中止とした		
		○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」	(I-2再掲)		実施	地元で活躍するNPOへの協力		

4 文化芸術を通じ地域のネットワーク形成へ寄与し、文化的コモンズ形成の牽引をします。	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	●音楽の贈り物@ほどがやア)音楽発表会@宿場祭りイ)YBPクリスマスコンサート	(I-2再掲)	近隣商業施設・地元の団体の協力で実施			【成果】 ・「ほどがや人・まち・文化振興会」、「保土ヶ谷宿場まつり実行委員会」等の会合に積極的に参加し交流を深めるとともに横浜ビジネスパークとの情報交換も密に行い連携を強化しました。「保土ヶ谷宿場まつり」では、岩間市民プラザの利用団体の協力を得て、積極的に祭りを盛り上げました。 ・地元のお寺の講堂等でのコンサートでは横浜の歴史に詳しい作家を交えて実施し、地域資源の発信と文化拠点としての岩間市民プラザの発信を行いました。 ・借恵あきまつり、ほどがや国際交流フェスタ、岩間町夏祭りの開催に向けて情報交換や施設の提供等の協力を行いました。 【課題】 ・継続して地域との情報交換や交流を行い、つながりを深めるとともにネットワークを拡大していく必要があります。
	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	●東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ	(I-3再掲)	地域の寺院の協力で実施			
		●保土ヶ谷区オープンヘリテージコンサート	(I-3再掲)	地域の教会、保土ヶ谷区政推進課の協力を得た			
		●音楽の贈り物@ほどがやア)音楽発表会@宿場祭りイ)横浜ビジネスパーク クリスマスコンサート	(I-3再掲)	近隣商業施設・地元団体、宿場祭り実行委員会の協力で実施			
24	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	○借恵あきまつり ■借恵いわまワークス通所者作品展・鑑賞会等のイベントを通じて地域との交流をはかる事業への協力	実施	実施	会場協力・広報協力等。ホール来場者は170名		
5 地域コミュニティの形成、社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進をします。	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」「NPO法人保土ヶ谷国際交流の会」の各団体と協力・連携しながら、取り組みます。	○岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんぴつ」との連携(チケット購入者の割引特典設定)	実施	岩間シネクラブチケットに「喫茶いろえんぴつ」割引特典設定			【成果】 ・複合施設である強みを活かし、お互いの得意な分野を受け持ちながら協働することができました。 ・参加者が活き活きと活動し、交流を深めることができました。 ・福祉施設等が身近にあり、職員のソーシャルインクルージョンの意識付けが自然な形でできることは強みです。 ・「ワークスカレンダー展」では借恵いわまワークスによる広報宣伝の協力を得て、より多くの来場者を迎えることができました。 ・「フェローアートギャラリー」では市民ギャラリーあざみ野の協力もあり、横浜の北部と南部で同事業を展開することができました。 【課題】 ・借恵いわまワークスとは質・量ともにさらなる協働が図られるべきですが、福祉施設側の専門性が高いため、今後もさらにコミュニケーションを密にしながら検討を重ねていきます。
	26	○いわまワークス通所者作品展 □来場者数	100名	280名	A	今回は、いわまワークス以外の借恵園所属の施設からの作品も展示。保護者会からの協力も得て実施	
	27	●フェローアートギャラリー □来場者数	200名	256名/1回	A		
		○借恵あきまつり	(I-4再掲)	会場協力(予約と減免)			
		●「ギャラリー紙芝居口演」 ●「午前の音楽会」事業	(I-2再掲) (I-1再掲)	広報協力等 広報協力等			
	28	○近隣保育園発表会 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	425名/4回	A		
		●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム	(I-2再掲)	地元のアーティスト等の協力			
	29	○ほどがや国際交流フェスタ □参加者数	300名	900名	A	11/18 会場協力・当日の運営協力。プラザ全館を使つての事業	
30	○異文化理解講座・日本語講座 □述べ参加者数	120名/36回	734名/57回	A			
31	○NPO保土ヶ谷国際交流の会と、事業案内・広報の連携	実施	広報協力等				

6 情報提供及び広報・プロモーション活動をします。	32	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、情報提供・広報プロモーション力を強化します	●テレビ神奈川情報番組、スポットCM □掲載回数	月1回(両プラザで)	月1回の実施	情報番組への広報のほか、「岩間寄席」「サイレントシネマ」のスポットCMを実施した	【成果】 ・tvkの広報枠を使った事業の宣伝や横浜メディアアドの専門性と機動力を活かした積極的な広報を行いました。 ・メディア・アドの営業力で「相鉄瓦版」や「駅からさんぽ」に総鉄沿線にむけた効果的な広報を行いました。 ・岩間町の自治会に加入し、自治会内での広報に努めました。 ・TV、HP、催物案内、チラシ、新聞、地域広報誌さまざまな媒体を効果的に使って広報を行いました。 【課題】 ・広報宣伝費が少ない中でより効果的な広報が展開できるような新聞社等への人的ネットワークの構築が必要です。
	33	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン＆マナーの統一を図り、よりわかりやすく利用しやすい発信をします。	●WEBページのコンテンツの充実 よりわかりやすく、読みやすい画面構成作りに努めます。	実施	実施		
	34	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	●クロスメディア広報 ■tvk、神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	随時実施	実施		
	35		●プラザ催物案内 □発行回数/配布箇所数	12回150箇所	12回150箇所	B	
	36		■岩間町自治会の広報板・回覧板を利用、広報よこはま保土ヶ谷区版に告知掲載	実施	実施		
	37		■相模鉄道発行の情報誌等を活用しての沿線利用者への広報アプローチをする。「相鉄瓦版」「駅からさんぽ」への掲載及び、相鉄天王町駅PRボックスにチラシを設置	実施	実施		
	38		■沿線のフリーペーパー等の告知を通じて、プラザの認知度アップをはかる	実施	実施		
	39	④地域の人材を育成し市全体のプラットフォームを設立	■周辺地域に集う方々の顔や地域の生きた情報を集めて発信するまちづくり情報サイトの機能を市民プラザホームページ内に構築	実施	実施		
			●WEB制作講座(初級編) □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	実施		
		●映像制作講座(初級基礎編) □述べ参加者数/開催回数	(I-3再掲)	実施			

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設を提供します。	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が気持ちよく利用できるような高いホスピタリティを提供しました。 窓口運営マニュアルを必要に合わせて見直しを行い、情報やサービスの共有化を図りました。 ギャラリーは、「U25割引制度」の初めての申込み(次年度利用)がありました。 利用率はホールは「ホールでグランドピアノを弾いてみよう」の利用が多く、目標達成に貢献しました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャラリー、リハーサル室の利用率が低迷しています。ギャラリーは、U25の積極的な広報宣伝、展示以外での利用方法の検討と誘致、及びリハーサル室の新たな利用方法の検討や営業活動などが必要です。
	2		■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学の希望を随時受付	実施	実施		
	3	②利用率が高まる工夫を行います。	■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入。	実施	実施	ギャラリーにてデモンストレーション展示(岩間アーカイブ展)を行ったところ、留学生による利用希望の相談があったため、U25割引制度をお勧めした。U25割引制度活用の展示は31年4月	
	4		■営業担当者によるPR活動	実施	実施		
	5		□目標利用率(%)				
			ホール(日)	92	92	B	
			ギャラリー(日)	50	47	B	
			リハーサル室(コマ)	75	59	C	
			レクチャールーム(コマ)	63	59	B	
			スタジオ(コマA~D平均)	84	82	B	
6	③日頃から安全第一に考えて、運営業務を遂行できるよう、防災訓練でスタッフの危機管理意識を高めます。	■防災訓練の実施	実施	実施			
	新1		■プラザ連絡会(プラザ、ワークス、国際交流、三師会)連絡会開催	新規	実施		
2 利用者ニーズの把握、サービスの向上に努めます。	7	①来館者・利用者からのご意見・ご要望を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高いアンケート回収率からの意見や受付での利用者の声を皆で共有し、優先順位の高い順に対応しています。 建物だけでなく備品類も経年劣化が激しい中、職員各自がそれぞれの得意分野を通じて簡易な補修や修理をしたり、必要備品を安価に入手したり工夫を凝らしています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報発信拠点としての顔をつくるよう、引き続きの取組が必要です。
	8		■緊急度・重要度から優先順位を決め順次取り組む。	実施	実施		
	9		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施		
	10		■接遇研修	実施	実施		
	11	②対象に応じた情報収集ツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づくサービスの向上につとめます。	■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施		
12	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組をします。	■動画を作成して発信 ■受付カウンターにモニターを設置、来館者へのイベント等の発信	実施	実施	岩間寄席の模様年2回、映像制作講座の作品1回を動画で発信 YOKOHAMA MUSIC SPACEは動画で生中継を実施		
3 組織的な施設運営を行います。	13	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> タイトなローテーション勤務を効率よく、しかも大きな事故なく運営できています。 毎日の朝礼、月1回のミーティング、プラザ4者ミーティング、吉野町との館長・副館長会議を活用し、情報の共有化、運営の改善等に努めています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に対応した労務管理を行う必要があります。
	14	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保を行います。	□朝礼	1回/日	実施	B	
	15		□職員会議	1回/月	実施	B	
	16		□運営会議	4回/年	実施	B	
	17		□企画検討会 随時	随時実施	実施	B	
	18		□職員研修	2回/年	実施	B	
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取り組みをします。	19	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組を実施します。	■ネット上で申込み時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを導入する	実施	実施		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報研修については、「チェックシート」を使った自己点検方式で定期的実施し、日常的な事務作業の振り返りを行うことができました。 個人情報に関するデータ等にはパスワードを付することを徹底しています。 人権ライブラリーから研修DVDを借り受けて、人権研修を実施し、心のバリアフリーやソーシャルインクルージョンなどについて学びました。 デマンド監視装置の警告が発せられた場合には、借恵いわまワークスや国際交流ラウンジに協力を仰ぎ、少しでも使用電力を下げる努力をしました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に対するさらなる意識の徹底が必要です。 受付の事務処理において、別の利用者に利用許可証を交付する事故がありました。(4/22)
	20		■個人情報管理・パスワード管理の徹底	実施	実施		
	21		■「横浜市」の保有する情報の公開に関する条例に添っての対応	実施	実施		
	22		■人権に配慮した運営・接遇	実施	実施		
	23		■文化施設としての快適性を確保しつつ節電 ■中小企業への優先発注	実施	実施		
24			実施	実施			

評価項目		H30年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 施設及び設備の維持保全及び管理をします。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施 ②保守点検・備品管理、環境維持を実施します。	■日常点検時に発見した不具合を適切に補修、安全性を確保	実施	実施			【成果】 ・日常点検・定期点検で発見した不具合には速やかに対応し、安全・安心な施設提供を行いました。 【課題】 ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生しています。今後見込まれる修繕に向けて予算の確保等が課題となっています。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。	【評価する点】 ・日常清掃や設備の各種点検を確実に行うとともに、自前での小破修繕に取り組むなど経費削減の面でも努力がみられます。 ・風水害や地震が増加する中で、施設における危機管理の取組は一層重要性を増しています。防災訓練では防潮版の設置訓練を行うなど、地域特性に合わせた対策が取られています。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。
		■消防設備及び法定点検を計画通り実施。不具合は確実に修繕	実施	実施				
		■一定の期間が必要な修繕等に対応するため、連続する作業可能日を設ける	随時	実施				
		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施				
		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施				
		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施				
		□月1～2回の施設点検・職員研修	月1～2回	月1～2回	B			
		□エレベーター・カーリフト点検	月1回	月1回	B			
2 小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組をします	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B		【成果】 ・アンパや譜面台の修繕については、スタッフの専門性を活かし、可能な限り自前でを行いました。 【課題】 ・施設の老朽化が進み、故障・破損等が多く発生しています。	
		■優先順位を付け、設置者と協議のうえ修繕を実施	実施	実施				
		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施				
3 事故予防及び緊急時対応を実施します。	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施を行います。	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施			【成果】 ・微妙な段差にすべり止めテープを設置するなど、事故につながるような不具合はできるだけ事前に察知し必要な対策を講じました。 【課題】 ・高齢者の利用が多いのでホールなどでの事故リスクがあります。	
		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施				
		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施				
		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施				
4 防災に取り組みます。	①日常の取組、危機管理マニュアルを整備、防火・防災に取り組み、災害備蓄等を実施します。	■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施			【成果】 ・年2回の防災訓練を着実に実施しました。同じ訓練を職員がそれぞれ役割を変えながら複数回実施し、さまざまな想定のもと、身体を動かせるように訓練を行いました。 ・大雨・洪水に備えて防潮版の設置訓練を行いました。 ・保土ヶ谷消防に協力をいただきAEDを含む救急救命講習会を行いました。 【課題】 ・夜間少人数(最低受け付けスタッフ1名を加えて3名)の際の地震、火災等への対応、及び夜間に想定外のゲリラ豪雨が発生した場合の防潮版の設置が課題です。	
		■危機管理マニュアル整備	実施	実施				
		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施				
		■所轄の消防署と相談した、非常時に成果が活かせる訓練を行う	実施	実施				
		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施				
		□防災訓練実施回数	2回/年	2回	B			
5 その他の管理		■許認可および届出の適切な実施	実施	実施			【成果】 ・達成指標に記載した内容は滞りなく実施しました。 【課題】 ・特にありません。	
		■目的外使用許可手続	実施	実施				
		■名札の着用	実施	実施				
		■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施				
		■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施				
		■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施				
		■行政機関が制定する規準等の遵守	実施	実施				
		■法律の制定・改正時には、横浜市と協議し対応する	実施	実施				

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価		
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造および収支バランスを目指します。	1 適切な収支構造及び収支バランス目指します	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施 ■事業収支の精査	実施	実施	チェック		【成果】 ・自主事業費は前年比べて増加していますが、対応する自主事業収入と計算すると+80万円となっております。また、人件費単価上昇と社会保険料の増加あって人件費は前年よりも増加しています。協賛金獲得や、リスクの少ない事業を心がけましたが、全体収支はマイナスとなりました。 【課題】 ・全体の収支は▲189万円となり、次期に向けて改善が必要です。	【評価する点】 ・自主事業が盛況だった結果、収入が予算を大きく上回り、約80万円の利益が出ている点を評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・利用率の低下から利用料金収入が落ち込んでいますので、引き続き利用促進の取組を期待します。 ・協賛金助成金等の収入が昨年と比較して半減しています。来期については広告収入が入るとのことですが、協賛金助成金の獲得については指定管理者のノウハウを活かせる分野として提案されていますので、一層の取組を期待します。
	2		実施	実施				
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造に取り組みます。	3 ①指定管理料のみに依存しない収入確保に取り組みます。	■利用率向上による収入確保	実施	実施			【成果】 ・次年度実行ですが、新しい広告契約を獲得しました。 【課題】 ・当期は、協賛金獲得のための営業活動を行ったものの、獲得は協賛金1件にとどまりました。今後、さらなる助成金の獲得や協賛金獲得による収入確保も課題です。	
	4	□目標利用率(再掲)	(Ⅱ-1再掲)	実施				
	5 ②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策やコスト削減等、収支構造を再分析し、短・中期的ビジョンを構築します。	■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施				
3 経費削減及び効率的運営努力をします。	6	■商品サンプリングの実施	実施	実施			【成果】 ・照明や空調はこまめに調整し光熱費の削減に努めました。 ・事業チラシのデザインは全てスタッフが自前で制作しています。また、最小限の価格と必要枚数で印刷発注しています。 【課題】 ・暑さ対策と電力節約の両立は難しい課題です。	
	7 コスト削減の徹底を実施します	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施				
8		■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施				
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
日報及び月間事業報告書の作成・管理	1	各種日報を作成	実施	実施			【成果】 ・各種報告書は適正に作成・報告しました。 【課題】 ・特にありません。	
	2	月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施				
	3	日報・月報の管理保存	実施	実施				
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
	1 ①必要な保険に加入します	保険:損害保険の加入	実施	実施			【成果】 ・施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャーサービス施設費用保険に加入しました。 ・研修を行うなど、コンプライアンス遵守に取り組みました。 【課題】 ・特にありません。	
	2 ②関係法令を遵守します	法令順守	実施	実施				
	3 ③情報公開に取り組みます	■横浜市「情報公開に関する標準機亭」 「横浜市市民プラザ情報公開規定」遵守	実施	実施				
	4 ④市その他関係機関との連絡調整	□横浜市モニタリング	1回/月	12回/年	B			
	5	□プラザ館長会議	6回/年	6回/年	B			
	6	□JV会議	4回/年	4回/年	B			

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 2つの市民プラザを一体で運営します	1 ①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンドレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安心安全、快適な施設管理と長寿命化への対応	■バンドコンテスト予選「音楽空間」や器楽等のワークショップを両館で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ相互に月1回 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	・吉野町・岩間両市民プラザ連携事業「若手落語会」、「吉野町音楽空間」「岩間ROCK SPACE」及び関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ3館連携イベント「Yokohama Music Space」を開催 ・tvk番組内コーナーでの事業告知を交互に月1回実施 ・「Yokohama Music Space」の共同開催、「tvk番組ポスター展」など人的資源やノウハウを2館共通で活用した事業を開催 ・事業開催時の相互応援、職員研修の相互参加 ・同規模・同程度の経過年数2館で設備管理についての問題点を共有し、対応	【成果】 ・「ROCK SPACE」(吉野町と2館連携)、「Yokohama Music Space」(関内ホール含めた3館連携)と連携事業を開催し、人的資源とノウハウの活用を行いました。 ・事業開催時に職員の相互応援、研修の相互参加などを行い、JVとして一体の運用をおこないました。 【課題】 ・経年劣化が進む施設の管理面で連携を強化します。	【評価する点】 ・共同事業体において連携事業の取組を広げたことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、両プラザの連携により効率的な安定的な運営を期待します。

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標		特記事項	自己評価	行政評価	
	1				「午前の音楽会」をはじめとする岩間ブランドとも言える個性的な事業をさらに増やしました。また、複合施設を活かした事業や地元に着目した協働事業も多々行い、ソーシャルインクルージョンを含めた文化的コモンズ構築に向けた取組みが着々と進んでると考えます。さらに、同じ指定管理者としての吉野町市民プラザとの連携事業や人材交流等も進めていくことができました。課題はホール、ギャラリーをはじめとする施設の利用促進とそれに伴う収支の改善です。また、設備の経年劣化に伴う補修や修繕も早めの対策を打っていくことも重要な課題と捉えています。	・市民プラザの指定管理導入3年目を迎え、特色ある自主事業に成功が感じられる年でした。 ・3館連携イベント「Yokohama Music Space」は、複数の施設を運営する共同事業体の特徴を活かした事業であり、新たな交流と文化的つながりを生み出すことが期待されますので、より発展した取組を目指してください。 ・保土ヶ谷区民文化祭や保土ヶ谷宿場まつり、社会福祉法人との連携など、地域と多様なかたちで積極的に交流し、信頼され必要とされる施設運営を心掛けている点を高く評価します。 ・事業の実施にあたっては昨年度に引き続き黒字が保たれている点を評価する一方で、運営面に目を向けると事務処理ミスが発生するなど課題となる出来事もありました。既に設けられている職員研修や会議の場が有効なものとなるよう見直すとともに、一定の緊張感のある職務執行が必要です。 ・今後もさらに施設の現状と課題を分析したうえで、2施設一体公募を行ったメリットを発揮できるよう、検討・取組を進めていくことを期待します。	

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価			
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
1 市民への文化芸術の鑑賞、創作活動の機会を提供します	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	□吉野町市民プラザ落語会入場者数	180名	112名	10/23「桂歌丸追悼落語会」112名	【成果】 ・当初予定していた「桂歌丸落語会」は、師匠の逝去により追悼落語会に内容を変更しました。桂歌丸一門や縁の深い出演者により、対談を交えた追悼公演を開催。10年前の高座のDVD上映、追悼展示も行いました。 ・Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018関連事業は、事業数・参加者数とも目標を大きく上回り、全市的な盛り上がりにも貢献しました。 ・新規実施「若手アーティストシリーズ」は、アーティストに公演機会を提供するとともに、新たな来場者を呼び込みました。 ・「アートアンドクラフト・マーケット」は、来場者・出店者双方の要望に応じてブースを増設しました。夏は「真夏のダンスステージ」、冬は「クリスマスロビーコンサート」と同時開催し、にぎわいを創出しました。 ・「吉野町芸術工房」では、アーツコミッションヨコハマと連携し、ダンサーの滞在制作、体験講座、ワークショップと、多様なプログラムを展開しました。 ・「朝からグランドピアノ」は、通年開催2年目で定着し、参加者が目標を大きく上回りました。	【評価する点】 ・地域との関わりの中で従前から継続して行ってきた事業のほか、これまで施設に定着した事業が引き続き実施され、地域のつながりを深めています。 ・大衆芸能や音楽、ダンスなど幅広いジャンルにおいて、鑑賞型だけでなく体験型のメニューも用意されるなど、新たな取組にも着手する姿勢がありました。 ・Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018など市の事業への連携・協力に加え、プラザ独自でも関連する自主事業を行い、イベントの盛り上げに寄りました。 ・市民の活動支援として活動や発表の場を用意することは、活動意欲の向上につながり、利用者同士の交流の場としても役立ちます。特に、3館連携イベントはライブ中継も行うなど指定管理者の強みを活かした取組として成功が感じられ、高く評価します。 ・子ども 障害者を対象とした事業にも積極的に取組んでいます。	【課題】 ・公演事業の集客が課題です。今後、開催日時を再検討し、販売促進に注力します。 ・アート&マーケットは「南まつり」「光のぶるむなあと」と同日に開催していますが、集客が天候に大きく影響されます。建物周囲の幟旗を新規に作成し、PRに努めています。 ・「わたしのギャラリー」は、出展者のギャラリー移行等により目標に達しませんでした。今後はテーマを決めて募集するなど、出展増を目指します。	
		□親子で楽しむコンサート入場者数	100名	42名	5/5「チャレンジ・ザ・ギターこどもの日スペシャル」42名				
		■親子で楽しむコンサート 体験を交えて親子で演奏を楽しむ機会を提供	機会の提供	機会の提供	—				ギター鑑賞と演奏体験を家族みんなで楽しむ機会を提供しました
		□吉野町スーパーギタークリニック入場者数	100名	38名	C				11/12「吉野町スーパーギタークリニックVol.3 竹田和夫」38名
		□若手アーティストシリーズ(新規)開催数	年4回	年4回	B				7/5 「みんなのコンサート～夏～」、8/25 「レスバス弦楽四重奏団」、11/20 「若手落語会」、3/10 「クアトロ・パロス」
		□若手アーティストシリーズ(新規)参加者数	延600名	延357名	C				7/5 「みんなのコンサート～夏～」93名 8/25 「レスバス弦楽四重奏団」78名 11/20 「若手落語会」74名 3/10 「クアトロ・パロス」112名
	②講座やワークショップを開催することで、文化芸術への理解・共感を高めていきます。	□ギターワークショップ参加者数	延60名	延62名	B	6/3-8/26「チャレンジ・ザ・ギター」29名 1/20-3/17「ステップアップ・ザ・ギター」33名			
		□tvk番組制作記参加者数	80名	ポスター展に変更	—	7/22-9/2「tvk番組ポスター展」に変更、観覧者 2,670名			
	③市民プラザでの芸術体験を通して、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	□Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018関連事業参加者数	30名	延272名	A	7/28-29「アート寺子屋ダンス編Vol.1」15名 7/28-29「真夏のダンスステージ」194名 8/9-31「吉野町芸術工房」48名 8/25-26「アート寺子屋ダンス編Vol.2」15名			
		□クリスマスロビーコンサート入場者数	1,000名	988名	B	12/15-16「クリスマスロビーコンサート2018」988名(マーケットと合算)			
		□アートアンドクラフト・マーケット参加団体数	延80団体	延93団体	A	7/28-29「真夏のアート&クラフトマーケット-親子で行こう-」40団体 12/15-16「クリスマスアート&クラフトマーケット-みんなで行こう-」53団体			
		■「南まつり」「光のぶるむなあと」に合わせて年2回手作り市を開催	開催	2回開催	—	「南まつり」は荒天中止となりましたが、マーケットは予定どおり開催。「光のぶるむなあと」同日と合わせ、年2回手作り市を開催しました。			
		□わたしのギャラリー出展数	延40点	延19点	C	「わたしのギャラリー(平面部門、立体部門)」19点			
		■わたしのコレクション(新規・追加)	実施	実施	—	「わたしのコレクション」を新設し、展示しました。			
		□朝からグランドピアノ参加者数	延120名	延173名	A	「朝からグランドピアノ」延173名(年間)			
		■ホールでグランドピアノ(追加)	実施	実施	—	ホール舞台上でのピアノ練習プランを試しました。			
		■吉野町芸術工房 ACYと連携し若手アーティストの滞在制作とワークショップを開催	実施	実施	—	8/9-31「吉野町芸術工房」延48名 滞在制作 8/9-31、体験講座 8/9,10,19,27、無料開放 8/14,15,16,19,20,21、ワークショップ 8/25-26 ACYと連携しタップダンサーおどるなつこの滞在制作とワークショップを開催しました			
追4	■tvk番組ポスター展(追加)	実施	実施	—	7/22-9/2「tvk番組ポスター展」観覧者 2,670名				
追7	■桂歌丸高座写真展示(追加)	実施	実施	—	10/3-11/15桂歌丸高座写真展示 観覧者 3,411名 7月に逝去した桂歌丸師匠の高座写真を展示				

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

2 次世代育成に取り組ま す。	16	①次代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	□吉野町アート寺子屋参加者数	延100名	延74名	C	7/28-29 ダンス編Vol.1 15名 8/25-26 ダンス編Vol.2 15名 12/2 造形講座 27名 12/9 写真講座初級 17名	【成果】 ・「アート寺子屋」は、「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」「光のぶるむなあと」と連携し、テーマ色豊かな講座を開催しました。 ・「吉野町芸術工房」では、夏休みの子どもたちがダンスを体験できる講座や自由に踊れる無料開放日を設けて、アーティストと交流する機会を提供しました。 ・芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムに加え、近隣学校や地域団体と連携し、地域の子どもたちの表現活動に協力しました。 ・「南まつり」が荒天中止となりましたが、「光のぶるむなあとキャンドルワークショップ」を実行委員会と協力し実施しました。 【課題】 ・「アート寺子屋」、「チャレンジ・ザ・ギターこどもの日スペシャル」の参加者が、目標を下回りました。各講座の定員を含め、企画を見直します。
	17		□吉野町アート寺子屋開催数	年4回	年4回	B	7/28-29 ダンス編Vol.1、8/25-26 ダンス編Vol.2、12/2 造形講座、12/9 写真講座初級	
	18		□親子で楽しむコンサート入場者数(再掲)	100名	42名	C	5/5「チャレンジ・ザ・ギターこどもの日スペシャル」42名	
	19		■吉野町芸術工房 こどもたちとアーティストが交流する機会の提供	機会の提供	機会の提供	-	夏休み時期に開催し、子どもたちがダンスを体験できる講座や、自由に踊れる無料開放日を設けて、アーティストと交流する機会を提供しました。	
	20	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	□子どもが作る光のワークショップ(南まつり出店)参加者数	200名	中止	-	荒天のため南まつりが中止されました	
	追8		■子どもが作るキャンドルワークショップ開催に協力(追加)	協力	協力	-	12/1子どもが作るキャンドルワークショップ「光のぶるむなあと」関連事業「キャンドルワークショップ」の開催に協力	
	21		■子どもたちの光のアート作品展(大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」)こどもたちが光の作品を制作し展示する機会の提供に協力	協力	協力	-	12/15-16子どもたちの光のアート作品展(大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」)こどもたちが光の作品を制作し展示する機会の提供に協力し、近隣小中学校など多くの子どもたちの作品が並びました	
	追9		■近隣学校と連携し、こどもたちの表現活動に協力(追加)	協力	協力	-	近隣学校や地域団体と連携し、こどもたちの表現活動に協力しました	
	22	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくります。	□吉野町アート寺子屋参加者数(再掲)	延100名	延74名	C	7/28-29 ダンス編Vol.1 15名 8/25-26 ダンス編Vol.2 15名 12/2 造形講座 27名 12/9 写真講座初級 17名	
	23		□吉野町アート寺子屋開催数(再掲)	年4回	年4回	B	7/28-29 ダンス編Vol.1、8/25-26 ダンス編Vol.2、12/2 造形講座、12/9 写真講座初級	
24		□水辺の光コンサート(大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」)出演団体数	12団体	15団体	A	12/15-16水辺の光コンサート(大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」)15団体 子どもたちの演奏やダンスが、多くの観客の前で披露されました		
25	④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数	5校	5校	B	7/6,13,19永野小(ダンス) 7/9,8/30,9/20藤田小(音楽) 12/11,12,13南小(邦楽) 12/20石川小(邦楽) 1/21中村特別支援(音楽鑑賞)		
3 市民協働、市民主体の活動を支援し、地域人財を育成します。	26	①地域で文化活動を担う人財を育成するための事業を実施します。	□写真講座参加者数	20名	延29名	A	12/9初級「スマホ撮影のコツ」17名 12/1,9中級「暗いところで光を撮る」12名 文化活動に役立つ撮影講座を開催しました	
	27		□WEB・映像制作講座(初級)参加者数	20名	6名	C	WEB・映像制作講座(中級)6名(定員15名) 2/28-3/28「吉野町映像マスタークラス～魅せる映像を作る101のプロセス～」 表現活動を行っている方を対象とした中級講座を開催。内容と定員を変更しました。	
	28		■ワークショップ修了フォローアップ事業参加者で組織するグループの活動を支援	活動支援	活動支援	-	発表機会の提供 9/2「ポップスギターアンサンブルコンサート」、12/15-16「クリスマスロビーコンサート2018」 ギターワークショップ、ヨガワークショップ修了者が活動を継続するための支援を行いました	
	29	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	□吉野町音楽空間2018参加団体数	10組	10組	B	1/14「吉野町音楽空間Vol.2」参加10組	
	30		■吉野町音楽空間2018 バンドコンテスト予選会として開催	開催	開催	-	1/14「吉野町音楽空間Vol.2」、2/3「岩間ROCK SPACE」、3/23「関内ホール「Yokohama Music Space」(追加) 「吉野町音楽空間Vol.2」は、関内ホールイベント予選会を兼ねて、スタジオ利用者等が舞台上で演奏する機会を提供し、制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会を年2回設けました	
	31		■アートアンドクラフト・マーケット(再掲)制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会作り	機会の提供	機会の提供	-	7/28-29「真夏のアート&クラフトマーケット-親子で行こう-」 12/15-16「クリスマスアート&クラフトマーケット-みんなで行こう-」	
	32		□アートアンドクラフト・マーケット参加団体数(再掲)	延80団体	延93団体	A	7/28-29「真夏のアート&クラフトマーケット-親子で行こう-」140団体 12/15-16「クリスマスアート&クラフトマーケット-みんなで行こう-」53団体	
	追3		■真夏のダンスステージ 市民に発表機会を提供(新規・追加)	機会の提供	機会の提供	-	7/28-29「真夏のダンスステージ」市民ダンサーに舞台上で発表する機会を提供しました	
	33		□ポップスギターアンサンブルコンサート2018入場者数	200名	350名	A	9/2「ポップスギターアンサンブルコンサート2018」延350名	
	34		□ギャラリーホワイエ活用事業回数	15回	21回	A	ギャラリーホワイエ活用事業 21回(通年)	
35	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指します。	■大岡川アートプロジェクト実行委員会への支援	活動支援	活動支援	-	大岡川アートプロジェクト実行委員会へ参画し、「光のぶるむなあと」及び関連事業に協力しました		
36		□ウエルカムプラザ参加団体数	30団体	31団体	B	ウエルカムプラザ 参加31団体(通年) 優先利用(公演、展示) 19団体 優先定期利用(練習) 12団体		
37		□子どもが作る光のワークショップ(南まつり出店)参加者数(再掲)	200名	中止	-	荒天のため南まつりが中止されました		
追8		■子どもが作るキャンドルワークショップ開催に協力(再掲・追加)	協力	協力	-	12/1子どもが作るキャンドルワークショップ「光のぶるむなあと」関連事業「キャンドルワークショップ」の開催に協力しました		

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 文化芸術を通じた地域のネットワーク形成への寄与、文化的コモンズ形成の牽引	38	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	■大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」に企画し多様なネットワークを構築	実施	実施	-	大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」(再掲)実行委員会に企画し、「光のぶるむなあと」の運営にあたりました。学校訪問など地域と密接にかかわり、多様な団体と協働しました。	・「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」に加え、「フォトヨコハマ2019」へ参加しました。 ・大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」実行委員会に企画し、運営にあたりました。学校訪問など地域と密接にかかわり、多様な団体と協働しました。 ・学校連携では、コンサートへの出演に加え、新たに近隣高校へ写真講座の講師を派遣しました。 ・まるごとみなみ施設交流会(定例会、スタンプラリー)、町内会などの定期的な交流機会を活用しました。南区社会福祉協議会へ学校福祉授業の講師紹介など、新たなつながりができました。 【課題】 ・地域連携やアウトリーチを充実させるための体制強化が課題です。
	追6		■近隣施設・学校への講師派遣(追加)	実施	実施	-	近隣高校へ写真講座の講師を派遣しました。	
	39	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	■町のにぎわいつながり計画 定期的な交流機会を活用しつながりを継続	実施	実施	-	まるごとみなみ施設交流会(定例会、スタンプラリー)、町内会などの定期的な交流機会を活用しました。南区社会福祉協議会へ学校福祉授業の講師紹介など、新たなつながりができました。	
	40		□子どもが作る光のワークショップ(南まつり出店)参加者数(再掲)	200名	中止	-	荒天のため南まつりが中止されました	
	追8		■子どもが作るキャンドルワークショップ開催に協力(再掲・追加)	協力	協力	-	12/1子どもが作るキャンドルワークショップ「光のぶるむなあと」関連事業「キャンドルワークショップ」の開催に協力しました	
	41	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	□Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 関連事業参加者数(再掲)	30名	延272名	A	7/28-29「アート寺子屋ダンス編Vol.1」15名 7/28-29「真夏のダンスステージ」194名 8/9-31「吉野町芸術工房」48名 8/25-26「アート寺子屋ダンス編Vol.2」15名	
	追2		■Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 18区ワークショップ協力(追加)	実施	実施	-	Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 18区ワークショップへ協力しました。	
	追10		□「フォト・ヨコハマ2019」関連事業の開催(追加)	実施	実施	-	「フォト・ヨコハマ2019」に参加 2/28-3/28動画編集講座、2/27~3/3光のフォトコンテスト写真展	
	42		■クリスマスロビーコンサート(再掲) 近隣学校と連携	実施	実施	-	学校連携によるコンサートを実施しました。 フェリス学院大学音楽学部 横浜清陵高校合唱部 横浜英和小学校ハンドベルクラブ、合唱隊 制作活動を行う地域の方が、日ごろの成果を展示、発表、交流できる機会を提供しました。	
	43		□アートアンドクラフト・マーケット(再掲)参加団体数	延80団体	延93団体	A	参加団体 延93団体(2日間×2回)	
5 地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を推進します。	44	①アートを通じて、多様性を認め合える豊かな地域の礎を築き、地域コミュニティの活性化と社会的包摂の推進に努めます。	□横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム実施数(再掲)	5校	5校	B	7/6,13,19永野小(ダンス)、7/9,8/30,9/20蒔田小(音楽)、12/11,12.13南小(邦楽)、12/20石川小(邦楽)、1/21中村特別支援(音楽鑑賞) 表現する楽しみと個性を認め合い共感する力を育むアートプログラムを南区・港南区の5校で実施しました。	
	45		■大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」(再掲)多様な市民が集う場の実現に協力し、地域コミュニティ活性化に寄与	協力	協力	-	大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと」(再掲)町内会、子ども会、学校、環境NPO、社会福祉団体等、地域の多様な団体とともに事業をつくり、地域コミュニティに働きかけました。	
	追4		■吉野町芸術工房(再掲・追加) 言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会の提供	機会の提供	機会の提供	-	吉野町芸術工房(再掲)言語、年齢、障がいの有無にかかわらず芸術体験機会を提供しました	
	追5		■吉野町アート寺子屋ダンス編Vol.2(再掲・追加) 言語、年齢、障がいの有無にかかわらず共に作品を創る機会の提供	機会の提供	機会の提供	-	吉野町アート寺子屋ダンス編Vol.2(再掲)言語、年齢、障がいの有無にかかわらず共に作品を創り、発表、鑑賞する機会を提供しました	
	46	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、現在の市民プラザの「弱み」である情報提供・広報プロモーション力を強化します。	□tvk番組での事業告知・報告等回数	両プラザで月1回程度	両プラザで毎月実施	B	プラザ両館で月1回の告知枠を確保し、tvk「猫ひたプラス」「猫のひたいほどワイド」にて、事業告知を行いました。	
6 情報提供及び広報・プロモーションを実施します。	47	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トン&マナーの統一を図り、よりわかり易く利用しやすい発信をします。	■WEBページに新たなコンテンツの追加	実施	実施	-	新たなコンテンツを追加しました。 アーティスト動画(レスバス弦楽四重奏団、クアトロ・パロス)、吉野町音楽空間動画チャンネル掲載 新規にfacebook「館長日誌」を立ち上げました。	
	48		□WEBページ掲載記事数	150件	159件	B	WEBページ掲載記事数 159件(年間)	
	49	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	□放送と神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	実施	実施	-	クロスメディア広報を随時実施しました。 (tvk、神奈川新聞、タウンニュース、ぼど)	
	50		□「ブラザインフォメーション」発行回数	年12回	12回	B	「ブラザインフォメーション」年12回発行	
	51		□「ブラザインフォメーション」配布場所	150箇所	157箇所	B	「ブラザインフォメーション」市内157箇所配布	
	52	④地域の人材を育成し市域全体のプラットフォームを設立	■まちづくり情報サイトの機能を、市民プラザホームページ内に構築	実施	試行	-	地域イベント情報、プラザで行われる催し物の記事をホームページやfacebookに掲載しました。 事業の動画ライブ中継を試行しました。	
	53		■写真講座(再掲)文化活動に役立つ撮影講座を開催	実施	実施	-	3/10「クアトロ・パロス」ライブ配信、3/23「Yokohama Music Space」ライブ配信 12/9初級「スマホ撮影のコツ」 12/1,9中級「暗いところで光を撮る」 「光のぶるむなあと」に先立ち、夜景等の撮影講座を開催しました。	
	54		□写真講座参加者数	20名	延29名	A	12/9初級「スマホ撮影のコツ」17名 12/1,9中級「暗いところで光を撮る」12名	
	55		□WEB・映像制作講座(初級)参加者数(再掲)	20名	6名	C	2/28-3/28「吉野町映像マスタークラス～魅せる映像を作る101のプロセス～」6名 映像編集・合成ソフトを活用し、映像やグラフィックをブラッシュアップする講座を開催しました。	

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動を始めとする多様な市民利用への施設の提供を行います。	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■企画から本番まで、お客様の立場で相談に応じ、チケット販売や広報に協力 ■交替勤務による情報伝達不足がないよう、ネット上の情報共有ツールや、ノート等で情報共有 ■利用相談・見学会の開催	実施	実施	■企画から本番まで、様々な相談に応じ、チケット販売や広報に協力しました。	【成果】 ・お客様の立場に立った柔軟な対応を心がけ、ホール、スタジオの利用率は目標を上回りました。ホール、ギャラリーの利用日間近の予約を受け付け、撮影等でご利用いただきました。 ・「バックステージツアー」を開催し、施設利用予定者のみならず、ホールに関心をお持ちの方にじっくり施設をご覧いただきました。 ・「バックステージツアー」を開催し、施設利用予定者のみならず、ホールに関心をお持ちの方にじっくり施設をご覧いただきました。 ・「U25割引制度」について、近隣学校や絵画教室へご案内しました。制度の適用はありませんが、ギャラリーの利用に結びつきました。	【評価する点】 ・バックステージツアーを開催するなど新たな利用者を開拓する取組に、前向きな姿勢が伺えます。施設としてもピアノ練習プランを導入するなど企画の工夫を行い、ホールやスタジオにおいて利用率の目標を達成していることを評価します。 ・施設運営向上のために、必要となる情報共有と議論の場が確保されています。また、個人情報取扱研修など職員のスキルアップにも取り組んでおり、利用者から信頼される施設運営につながっていると考えます。 ・個人情報を適正に扱うことは、利用者の基礎的な信頼を得るための重要なポイントです。インターネット上での対策にも取り組んでいることを評価します。	
	②利用率が高まる工夫を行います。	■若い利用者へのアピール「U25割引制度」 ■予約システム受付終了後も公演・展示利用を受け ■コマ間の延長利用に柔軟な対応 ■営業担当者によるPR活動	実施	実施	若い利用者へのアピール「U25割引制度」について、近隣学校や絵画教室へご案内しました。 ホール、ギャラリーの利用日間近の予約を受け付け、撮影等でご利用いただきました。 コマ間の延長利用に柔軟に対応し、利用実態にあわせてご予約いただくことができました。 地域活動団体、音楽教室等へ月刊インフォメーションや事業チラシを配布しました。			
		□目標利用率	ホール/95%(日) ギャラリー/58%(日) 会議室/54% スタジオ/78%(A~C平均)	ホール/97%(日) ギャラリー/57%(日) 会議室/50% スタジオ/80%(A~C平均)	B			ホール、スタジオの利用率が目標を上回りました。
2 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウを一層活用します。	①来館者・利用者からのご要望・ご意見を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有 ■緊急度・重要度から優先順位を決め、順次取り組み ■対応後は検証を行い、より良い改善につなげる □接遇研修実施回数	実施	実施	要望苦情はメールや連絡ノートを活用し、全スタッフで情報を共有しました。 事業に対するご要望は、出演者や講師とも情報を共有し、対応しました。 個人情報関連などの重要事項については、随時研修を実施し、全スタッフで取り組みました。 対応後、研修で事例検討を行い、より良い対応を話し合いました。改善提案にそって運用を変更しました。	【成果】 ・要望苦情は全スタッフで情報を共有、事業に対するご要望は出演者や講師とも情報を共有し、対応しました。 ・個人情報関連などの重要事項については、随時研修を実施し、全スタッフで取り組みました。対応後、研修で事例検討を行い、より良い対応を話し合いました。改善提案にそって運用を変更しました。 ・アーティスト動画(レスパス弦楽四重奏団、クアトロ・パロス)、吉野町音楽空間動画チャンネルの公開や事業の動画ライブ中継を試行しました。	【課題】 ・地域の情報発信拠点としての顔をつくるよう、引き続き取り組みます。	
	②対象に応じた情報収集のツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づく、サービスの向上	■ご意見箱、受付時の対応、公演時アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握	実施	実施	ご意見箱、受付時の対応、公演時アンケートなどを通じ、利用者ニーズを把握しました。 事業アンケート: 毎回実施 貸し館利用者: 利用手続きから当日までご意見を伺いました お客様ご意見箱: 投稿 7件 ホームページ、Eメール、電話: 随時対応			
	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組	■動画を作成し、来場者への発信を強化	実施	実施	アーティスト動画(レスパス弦楽四重奏団、クアトロ・パロス)、吉野町音楽空間動画チャンネルの公開や事業の動画ライブ中継を試行しました。			
3 組織的な施設運営を行います。	① 適切な運営組織体制と人材の配置	□共同事業体各社の得意分野を運営に活かす職員配置数	館長 1、副館長 1、事業担当 2、管理担当 2、舞台技術担当 1、舞台技術担当 1、運営補助 2、受付担当 5人員相当	館長1、副館長1、事業担当 2、管理担当 1、舞台技術担当 1、舞台技術担当 1、運営補助3、受付担当 5人員相当	B	【成果】 ・年2回の集合研修に加え、個人情報取扱研修を個別に実施しました。 ・職員会議などの定例会議に加え、両プラザ館長・副館長会、関内ホール・市民プラザ3館連携会議、区文・プラザ館長会を開催しました。サービス向上や、連携事業実施に役立てています。	【課題】 ・引き続き施設内外との情報共有を行います。	
	② 組織内の情報共有及び主要人材の能力確保	□各種会議の実施数	朝礼 1回/日 職員会議 1回/月 運営会議 4回/年 企画検討会 随時	朝礼 1回/日 職員会議 1回/月 運営会議 4回/年 企画検討会 随時	B			
		□職員研修回数	年2回	年2回	B			
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組を実施します。	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施	■個人情報チェックリストにより、定期的に点検。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を実施	実施	実施	個人情報チェックリストにより定期的に点検しました。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を2回実施しました。	【成果】 ・インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱うフォームを、事業参加受付に活用しました。 ・個人情報チェックリストにより定期的に点検しました。ヒヤリ・ハット事例を共有し、意識を高めるための研修を2回実施しました。 ・文化施設としての快適性を確保しつつ、「管理標準」を活用して節電にも積極的に取り組みました。	【課題】 ・個人情報取扱、コンプライアンス研修は、今後も定期的に実施します。	
		■インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを活用 ■施錠管理やデータのパスワード管理を徹底	実施	実施	インターネット上で、申込時の個人情報を安全に取り扱うフォームを、事業参加受付に活用しました。 書類やデータの取り扱いに注意を払い、施錠管理やデータのパスワード管理を徹底しました。利用許可書の取扱方法について、手順書にそって、全スタッフに研修を実施しました。			
		■「横浜市」の保有する情報の公開に関する条例にそって情報開示 ■人権に配慮した運営、接遇	実施	実施	「横浜市」の保有する情報の公開に関する条例にそって対応するため研修を実施しました。 人権に配慮した運営、接遇を行うための研修を実施しました。			
		■快適性を確保しつつ、節電に積極的に取り組み	実施	実施	文化施設としての快適性を確保しつつ、「管理標準」を活用して節電にも積極的に取り組みました。			
		■「横浜市中小企業振興基本条例」を鑑み優先発注	実施	実施	「横浜市中小企業振興基本条例」を鑑み、小規模修繕や物品購入において、市内に主たる事務所又は事業所を有する中小企業に、できる限り発注しました。			

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価		
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全及び管理を行います。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	■日常点検時定期点検時に発見した不具合については臨時補修し施設の安全性を確保	実施	実施	エントランススタイル、トイレ部品交換など、日常点検時定期点検時に発見した不具合について、臨時補修しました。	【成果】 ・日常点検・定期点検で発見した不具合に随時対応し、安全・安心な施設を保ちました。 ・「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持しました。 ・利用状況に応じてトイレ、休憩スペースなどの清掃を行い、アンケートで「清掃が行き届いている」との回答を得られました。 ・横浜市のルート回収に参加し、資源循環を進めました。 【課題】 ・今後も、日常点検を着実にを行い、安全・安心な施設を保ちます。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。	【評価する点】 ・日常清掃や設備の各種点検を確実に行うとともに、施設の安定的な運営を意識した小破修繕に取り組むなど、着実な維持管理が行われています。 ・風水害や地震が増加する中で、施設における危機管理の取組は一層重要性を増しています。台風による閉館時間繰り上げなど、施設利用者と職員の安全を優先した判断を評価します。また、防災ボランティアセンターの指定を受けるなど、区の防災事業に寄与したことについても併せて評価します。 ・不具合発生時には設備業者と連絡調整を行うとともに、市側とも迅速に情報共有を行うことにより、早期の保全工事につながっています。	
	2	■消防設備及び法定点検を計画通り実施し発見された不具合の修繕を確実に実施	実施	実施	エレベーター無停電電源装置など、法定点検により発見された不具合の修繕を確実に実施しました。			
	3	②保守点検、備品管理、環境維持の実施	■公共施設として必要不可欠な安全性と清潔感を保ち、かつ施設設備の機能維持を図るため、施設点検のための休館日を設定 ■連続する作業可能日を設定	実施	実施			施設点検のための休館日を年間16日設けました。
	4			実施	実施			工事等に対応するため、連続する作業可能日を年間4回設けました。横浜市による照明工事に際し、ホールを40日間貸し出し休止としました。
	5		■「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持	実施	実施			「管理標準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持しました。
	6		■「業務の基準」に則り物品管理簿により管理	実施	実施			「業務の基準」に則り物品管理簿により管理しました。年度末には実査による確認、報告を行いました。
	7		■巡回清掃の実施、美観・衛生管理を強化するなど、業務の基準を満たしながら、利用実態に則した満足度を向上させる清掃	実施	実施			日常巡回清掃は、利用状況に応じてトイレ、休憩スペースなどの清掃を行い、アンケートで「清掃が行き届いている」との回答を得られました。
	8		■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生抑制	実施	実施			廃棄物管理責任者のもとに年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進を行いました。
	9		■横浜市のルート回収に参加	実施	実施			横浜市のルート回収に参加し、資源循環を進めました。
	10		□定期的な施設点検日と職員研修(防災訓練等)日	月1~2日	月1~2日			B 月1~2日の施設点検日と職員研修(防災訓練等)日を設定
	11		□エレベーターの保守点検回数	毎月1回	毎月2回			A エレベーターの保守点検 毎月2回
2 小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組	□巡回点検実施回数	毎日1回	毎日1回	B 毎日1回巡回点検を実施し、利用者の安全と快適な施設環境を保持しました。	【成果】 ・小破修繕は、お客様の安全や利用に直結する事項から優先的に実施しました。 【課題】 ・舞台音響など劣化が進む設備の大規模修繕について、設置者と協議します。		
		■日常の保守管理のなかで優先的順位をつけながら小破修繕	実施	実施	エレベーター安全装置やトイレなど、お客様の安全や利用に直結する事項を優先し修繕しました。			
		■更新が必要なものについては横浜市と協議	実施	実施	横浜市施工工事(ホール照明装置、高圧受変電設備、トイレ改修、外壁部分防水)実施に際し、協議・調整を行いました。			
3 事故予防及び緊急時の対応を確実に実行します。	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施	■消防設備や避難経路の案内図を掲示	実施	実施	消防設備や避難経路の案内図を案内図が常時視認できるように表示しました。	【成果】 ・建築設備、舞台設備の保守点検契約を結び、設備を維持管理しました。繰り返し発生した雨漏りはその都度横浜市へ報告し、横浜市施工の部分防水工事が行われました。 【課題】 ・古い設備を使用していることにより、思わぬ事故が発生するリスクがあります。		
		■建築設備、舞台設備不具合に迅速に対応し故障・停止を未然に防ぎ安全確保	実施	実施	建築設備、舞台設備の保守点検契約を結び、設備を維持管理しました。繰り返し発生した雨漏りはその都度横浜市へ報告し、横浜市施工の部分防水工事が行われました。			
		■緊急時の連絡網を作成し市と共有・連携	実施	実施	緊急時の連絡網を作成し、横浜市に提出しました。密に連絡を行っています。			
		■職員が館内を巡回し、日常の衛生管理を徹底	実施	実施	職員が館内を巡回し、飲食後の汚れなどには速やかに清掃するなど、日常の衛生管理を徹底しました。			
4 防災に対する取組を行います。	①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	■災害や危機が発生した場合、「人命の尊重」「生命の安全確保」を第一に対処	対処できる体制づくり	対処できる体制づくり	— 勤務実態に即した防災訓練を実施し、災害や危機が発生した場合、「人命の尊重」「生命の安全確保」を第一に全員が行動できる体制を作りました。台風時には職員が敷地内外を点検し、交通機関の状況により閉館時間繰り上げなど、来館者の安全を確保しました。	【成果】 ・所管の南消防署指導により、避難誘導訓練、通報訓練、救命救命訓練を実施しました。また、水消火器による消火訓練、地震発生時初動訓練、情報伝達訓練を実施しました。消防立入検査を受け、指摘事項はありませんでした。 ・台風時には職員が敷地内外を点検し、交通機関の状況により閉館時間繰り上げなど、来館者の安全を確保しました。 ・南区と災害ボランティアセンター協定を締結し、大規模災害発生時の役割を確認しました。 【課題】 ・限られた人員で災害などに対応できるよう、今後も繰り返し訓練することが必要です。		
		■地震、津波、停電、交通遮断、救急要請に対応した、危機管理マニュアルを作成	実施	実施	防災訓練の振り返りを受けて、危機管理マニュアルを改訂しました。			
		■環境創造局南部水再生センター(吉野ポンプ場)とも連携して活動	実施	実施	防火・防災管理者、統括防火管理者を選任し、環境創造局南部水再生センター(吉野ポンプ場)との合同訓練など、連携して活動しました。			
		■防火・防災訓練については、所管の南消防署と相談	実施	実施	所管の南消防署指導により、避難誘導訓練、通報訓練、救命救命訓練を実施しました。また、水消火器による消火訓練、地震発生時初動訓練、情報伝達訓練を実施しました。			
		■非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備	実施	実施	非常時に備え、ヘルメット、レスキューセット、飲料水、非常食、簡易トイレ、簡易毛布、携帯ラジオ等を常備しました。消費期限を確認し一部を入替えました。AED更新準備を行いました。			
		□防災訓練の実施回数	年2回	5回	A 防災訓練の実施(年5回) 5/8、9/1、9/7、12/4、1/17			
		■南区災害ボランティアセンター協定(新規・追加)	実施	実施	— 南区と災害ボランティアセンター協定を締結しました			
5 その他の管理に関する事項を実施します。	①適切な許認可及び届出等	■許認可及び届出等が必要な場合は、適切に処理	実施	実施	— 防火対象物点検報告書特例認定、イベント時の食品提供や著作権手続きを適切に処理しました。	【成果】 ・防火対象物点検報告書特例認定、イベント時の食品提供や著作権手続きを適切に処理しました。 ・人権研修を2回実施し、外部講習にも参加しました。 【課題】 ・引き続き、法律や各種基準の改定について情報収集を行います。		
	②施設の目的外使用	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	実施	— 目的外使用の手続きを適切に実施しました。			
	③名札の着用	■各部門に従事する者は名札を着用	実施	実施	— プラザの管理運営業務従事者は名札を着用しています。			
	④人権の尊重	■人権に関する講習会等に参加	実施	実施	— 人権研修を2回実施し、外部講習にも参加しました。			
	⑤近隣対策	■騒音や利用者の迷惑行為に関して、近隣対策を実施	実施	実施	— 外壁工事に際し、隣接家屋に挨拶、説明を行いました。			
	⑥書類の管理	■各書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	— 各書類の保存期間を定め、保管・管理しています。			
	⑦行政機関が策定する基準等の遵守	■行政機関が制定する基準等を遵守	実施	実施	— 行政機関が制定する基準等を遵守しています。			
	⑧法律の制定及び改正への対応	■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	実施	— 平成30年度は対応事例がありませんでした。			

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランスを保ちます。	①適切な収支構造及び収支バランス	■指定管理料にたよらない収入構造を確立するため、民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	指定管理料にたよらない収入構造を確立するため、事業毎に採算ラインを設定しました。自主事業関連グッズ販売など、収入確保の方策を実行しました。	【成果】 ・事業毎に採算ラインを設定しました。自主事業関連グッズ販売など、収入確保の方策を実行しました。 ・収支はマイナスとなりましたが、前年度より大幅に改善しました。 【課題】 ・収支のさらなる改善が課題です。	【評価する点】 ・収支改善のために、自主事業でのグッズ販売など収入確保に取り組まれた前向きな姿勢が感じられます。 ・施設の利用向上の取組が利用料収入の増加に結びついており、前年度よりも収支状況が改善していることを高く評価します。
	②収入に対し、管理費、事業費、人件費の割合を精査	■収入に対し、管理費、事業費、人件費の割合を精査	実施	実施	収入面では、利用料金が予算を740千円上回りました。支出面では、サービスの質の維持を図りつつ経費削減に努めたものの、人件費、自主事業費が予算を超過しました。また、収入増にともない消費税が予算を超過しました。その結果、収支はマイナスとなりましたが、前年度より大幅に改善しました。		
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造とします。	①利用料金収入を確保します	□目標利用率(再掲)	ホール/95%(日) ギャラリー/58%(日) 会議室/54% スタジオ/78%(A~C平均)	ホール/97%(日) ギャラリー/57%(日) 会議室/50% スタジオ/80%(A~C平均)	B ホール、スタジオの利用率が目標を上回りました。	【成果】 ・利用日が近づいてからの予約にも柔軟に対応し、利用料収入は予算を740千円上回りました。 ・指定管理料以外の収入として、刊行物への広告掲載料、コンテンツ審査料、アーツフェスティバル補助金を獲得しました。 ・飲料のサンプリングを実施しました。 【課題】 ・引き続き協賛金獲得活動を行います。	【更なる取組を期待する点】 ・協賛金・助成金の獲得については指定管理者のノウハウを活かせる分野として提案されていますので、一層の取組を期待します。 ・施設の節電の取組とともに、照明設備のLED化により光熱水費の抑制が進んでいます。引き続き、収支バランスの改善を期待します。
	②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策や、コスト削減など、収支構造を再分析し、短期的、中期的なビジョンを構築	■電力を入れて調達し、コスト削減	実施	実施	電力を入れて調達し、コストを削減しました。		
		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動を実施	実施	実施	営業ノウハウを持つ担当者を配置し、協賛金獲得活動を実施しました。 月刊インフォメーション広告掲載3件、写真コンテスト審査料収入、横浜アーツフェスティバル実行委員会より補助金収入を得たものの、協賛金獲得には至りませんでした。		
		■メーカー系スポンサーからCM出稿される商品のサンプリングを実施	実施	実施	飲料のサンプリングを実施しました。		
3 経費削減及び効率的運営努力を行います。	①コスト削減の徹底 事業費、管理費、事務費について可能な限りの経費削減を実施	■空調や照明などエネルギーの使用量を可能な限り削減し、光熱水費の削減	実施	実施	「管理標準」を活用し、空調や照明などエネルギーの使用量を可能な限り削減し、燃料費上昇にもかかわらず光熱水費は対予算約22%減と大幅な抑制を実現しました。	【成果】 ・「管理標準」を活用し、節電を行いました。燃料費上昇にもかかわらず光熱水費は対予算約22%減と大幅に抑制できました。 【課題】 ・今後も事務管理費の削減に努め、収支バランスを考慮し執行管理します。	
		■事業費、事務費について職員全員が削減意識を持ち経費削減	実施	実施	事業費、管理費、事務費について、職員全員がコスト意識を持ち、見積もり比較による物品選定、発注先の見直しをしました。内部で作業が可能な修理については職員が行うなど、コスト削減に努めました。		

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
PDCAサイクルを確実に運用します。	①各種日報・月報を作成します	■各種日報を作成	実施	実施	「業務日誌」等各種日報・月報を作成しています。	【成果】 ・各種報告書は適正に作成・報告しました。 【課題】 ・引き続き適正に作成・報告し、情報を共有します。	
		■月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施	月報を作成し、モニタリング時に提出しました。		
		■各日報・月報を適切に管理保存	実施	実施	各日報、月報は適切に管理保管しています。		

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 必要な保険に加入します	①必要な保険に加入します	施設賠償責任保険(賠償責任保険《施設、昇降機、自動車管理者》、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険)に加入	実施	実施	施設賠償責任保険(賠償責任保険《施設、昇降機、自動車管理者》、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険)に加入しました。	【成果】 ・施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加え、ワークショップ開催時にはレクリエーション保険に加入しました。 ・研修を行うなど、法令遵守に取り組みました。 【課題】 ・今後も横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。	
	②日本国法令、条例、施行規則を遵守します。 横浜市個人情報の保護に関する条例を遵守します。	横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する研修を年1回以上実施	1回	2回	横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する研修を年2回実施しました。		
	③公の施設の管理者として情報公開に取り組みます。	「横浜市市民プラザ情報公開規定」を遵守	実施	実施	横浜市の「情報公開に関する標準規定」に基づき策定した「横浜市市民プラザ情報公開規定」を遵守しています。		
	④横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。	横浜市とのモニタリングを月1回開催 プラザ館長会議の実施 年6回 JV会議の実施 年4回	モニタリング月1回、プラザ館長会議年6回、JV会議年4回	A	モニタリング月1回、プラザ館長・副館長会議年6回、JV会議年4回、区民文化センター・市民プラザ館長会議年6回、関内ホール、市民プラザ3館連携会議 1回		

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 2つの市民プラザを一体で運営します	①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンディング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安全・安心、快適な施設管理と長寿命化への対応	■バンドコンテスト予選「音楽空間」や器楽等のワークショップを両館で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に月1回実施 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	・吉野町・岩間両市民プラザ連携事業「若手落語会」、「吉野町音楽空間」、「岩間ROCK SPACE」及び関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ3館連携イベント「Yokohama Music Space」を開催 ・tvk番組内コーナーでの事業告知を交互に月1回実施 ・「Yokohama Music Space」の共同開催、「tvk番組ポスター展」など人的資源やノウハウを2館共通で活用した事業を開催 ・事業開催時の相互応援、職員研修の相互参加 ・同規模・同程度の経過年数2館で設備管理についての課題点を共有し、対応	【成果】 ・2館連携「若手落語会」、関内ホールとの3館連携「Yokohama Music Space」を新規に開催し、人的資源やノウハウを活用しました。参加者の活動や交流に広がりをもたらしました。 ・事業開催時の相互応援、職員研修の相互参加により、JVとして一体の運用を行いました。 【課題】 ・経年劣化が進む施設の管理面で、情報やノウハウを共有します。	【評価する点】 ・共同事業体において連携事業の取組を広げたことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、両プラザの連携により効率的な安定的な運営を期待します。

平成30年度 吉野町市民プラザ 指定管理業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画	実施状況	評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	特記事項	自己評価	行政評価
	1			<p>平成30年度は、指定管理3年目にあたり、「つながる」をテーマに、事業・運営・管理にあたりました。市民音楽家が集う「吉野町音楽空間」は、「岩間ROCK SPACE」につながり、さらに、関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ3館連携イベント「Yokohama Music Space」へと発展しました。また、全市的なフェスティバル事業「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」関連4事業を実施しました。ACYと連携し実施した「吉野町芸術工房」は、地域や福祉団体とのつながりをもたらし、ソーシャルインクルージョンの推進にも寄与しました。</p> <p>共同企業体の高い専門性を活かし、お客様の立場を尊重する運営とともに、小破修繕、清掃、点検など日常管理を着実にまいりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民プラザの指定管理導入3年目を迎え、運営に安定と発展が感じられる年でした。 ・3館連携イベント「Yokohama Music Space」は、複数の施設を運営する共同事業体の特徴を活かした事業であり、新たな交流と文化的つながりを生み出すことが期待されますので、より発展した取組を目指してください。 ・「光のぶるむなあと」実行委員会への参画や学校との事業連携など、地域と多様なかたちで積極的に交流し、信頼される必要とされる施設運営を心掛けている点を高く評価します。 ・事業の実施にあたっては成功が感じられる点も多いものの、収益の面も考慮しつつ、一定の取捨選択も必要と感じる面もありました。 ・施設の維持管理や事務管理等の運営面については、事案の重要度や緊急度に応じた情報共有を市と行うなど、誠実な対応がなされています。特に両プラザの取りまとめを積極的に行う姿は、市としても信頼できるもので、安定した2館運営につながっています。 ・今後もさらに施設の現状と課題を分析したうえで、2施設一体公募を行ったメリットを発揮できるよう、検討・取組を進めていくことを期待します。